

2020年11月12日

各 位

LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標」で最高評価「ゴールド」を受賞しました！

当社（社長：大田 勝幸）は、企業のLGBTに関する取り組みの評価指標「PRIDE指標」で最高評価である「ゴールド」を受賞しましたので、お知らせいたします。

work with Pride



「PRIDE指標」は、性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」※が日本で初めて策定した指標です。企業・団体などにおける国内最大規模のLGBTに関する取り組みの評価指標であり、「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度/プログラム」「社会貢献/渉外活動」の5つの指標で採点され、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の3段階で評価されます。

当社は2018年・2019年に「シルバー」を受賞しておりましたが、今般、最高評価である「ゴールド」を受賞しました。

※企業による実行委員会を毎年組成し、NPO法人グッド・エイジング・エールズが事務局を務めている団体

当社は従業員一人ひとりが、性別、年齢、国籍、人種、民族、皮膚の色、文化、思想、宗教、信条、政治的見解、性的指向や性自認、障がいの有無、家庭・個人事情の違い等の多様性（ダイバーシティ）を受容（インクルージョン）することが、組織全体としての新たな価値創造を促し、グループの成長につながると考えております。こうした人権や多様性の尊重を、役員および従業員が遵守・実践すべきものとしてグループ行動基準にも明記しております。

また、当社では、特別休暇や、各種手当、赴任等に伴う特別給付金、その他福利厚生など、配偶者の存在を要件として適用する人事諸制度について同性パートナーも配偶者と同様に扱い、適用しております。また、いきいきと働くことができるよう、自認する性に基づいて戸籍名称とは異なる社内呼称を使用して働くことができる環境整備も進めております。その他、全社員を対象としたLGBT・SOGI等に関する理解促進のための継続的な研修や社内広報、相談窓口の設置などを実施しております。

当社はこれからも、こうしたLGBTインクルージョンのための取り組みを含む、ダイバーシティ&インクルージョンの推進を積極的に図り、継続的な企業価値の向上に繋げるとともに、市民社会の発展に貢献してまいります。

以上